

令和7年度 南相馬市立石神第二小学校 グランドデザイン

<児童一人一人の可能性を引き出す>
 ・出来ないところより出来るところを伸ばす
 ・苦手なことより好きなことを伸ばす
 ・一人一人をチームで伸ばす
 ・一人一人の違いを大切に
 (指導の個別化、人権の尊重)

教育目標

- ・よくききよく考える子ども
- ・明るく思いやりのある子ども
- ・最後までがんばる子ども
- ・健康で元気な子ども

経営の重点

- 探究的な学習の充実(生活科・総合的な学習の時間)
 - ・よりよく問題を解決し、自己の生き方を考える資質能力を育成する。
 - ・実社会や実生活、SDGsの中から問い合わせを見いだし、課題解決・情報収集・整理分析しアウトプットする。
- 児童一人一人が「わかる・できる」算数の授業充実
 - ・主体的・対話的で深い学び、振り返りの充実
 - ・個別最適な学び、協働的な学び
- 心を豊かにする読書活動の推進
 - ・昼の全校一斉読書タイムの充実
 - ・家庭の日の家庭読書の推進

重点目標 自分の考えを発表しよう

発表する時の子どもたちの姿

○どんなことを話したいのかを考える。(低・中・高学年の姿)

- ・学校生活や授業で分かったことや感じたことを「みんなに伝えたい!」と思うことを決めます。例えば、好きな本や最近すごいと思ったニュースのこととか。授業で分かったことや友達と相談して分かったことなど。

○聞いてもらいやくなるように工夫する。(中・高学年の姿)

- ・わかりやすい言葉を選んだり、絵や図を使ったりして、みんなが興味を持つよう工夫します。

○みんなの話を聞いて、新しいことを知る。(高学年の姿)

- ・発表が終わったら、友達の感想や質問を聞く時間があります。そこでは、「あ、そういう考え方もあるんだ!」と感動したり、納得したりすることがあります。新しいことを知り、さらに自分の考えを発表することもあります。

| | 低学年 | 中学生 | 高学年 |
|-----------|--|--|--|
| 前期 手立て | <ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介や簡単な発表の場の工夫。 ・発表の機会の場の工夫。 ・話しやすいテーマの設定。 | <ul style="list-style-type: none"> ・話し方のきまりの確認。 ・少人数での発表の場の設定。 | <ul style="list-style-type: none"> ・根拠を明確にした発表の仕方の工夫。 ・相手や場に応じた話し方の工夫。 |
| 後期 手立て | <ul style="list-style-type: none"> ・全体の前で発表の場を設定する。 ・わかりやすく発表するための手立ての工夫。 ・発表のふり返り。 | <ul style="list-style-type: none"> ・理由をつけての発表の工夫。 ・話し合いや意見交流の場の設定。 | <ul style="list-style-type: none"> ・根拠を明確にし、話す順序を考えさせる。 ・自分の考えが伝わる表現の仕方を考えさせる。 |

| | よくききよく考える子ども(知) | 明るく思いやりのある子ども(徳) | 健康で元気な子ども(体) |
|---|---|--|--|
| P | <ul style="list-style-type: none"> ○学校統一での「市の9つの課題」指導(学力向上) ○継続的な読書活動の具体的立案(司書と連携) ○保護者との教育の在り方共有(学習の手引き) | <ul style="list-style-type: none"> ○一人一人のよさの把握・見通し(場面・環境) ○係活動・清掃活動・当番活動 | <ul style="list-style-type: none"> ○季節や行事と関連した業間運動 ○前年度体力テスト結果を生かした取り組み |
| D | <ul style="list-style-type: none"> ①一人一人が「できる」「わかる」算数授業充実 <ul style="list-style-type: none"> ・「学びのスタンダード」にそった主体的・対話的で深い学びの実践 ・「問い合わせ」「問い合わせ」を引き出した導入(授業スクリプト活用学期3回以上) ・少人数指導、スタディーサプリの実施 ・振り返り、適用問題を解く時間 ・習熟度別学習、ドリルアプリ活用 ②探究活動、体験活動の充実(至誠学) <ul style="list-style-type: none"> ・学年、ブロック間でのアウトプットの機会設定(学期1回) ・学習発表会での学びの発表(年1回) ・地域に根ざした体験活動(学期1回) ③発達段階に応じた自己マネジメント力を醸成 <ul style="list-style-type: none"> ・自主学習の手引きを活用した取り組み ④読書活動を推進 <ul style="list-style-type: none"> ・家庭読書(毎月第3日曜)の実施 ・読書タイムの推進、読書時間の確保の工夫 | <ul style="list-style-type: none"> ①思いや考えを伝え合い、「自分を大切にする」「友だちを大切にする」道徳教育実践 <ul style="list-style-type: none"> ・思いやりの価値項目での授業実践 ・ワークシート等の活用と資料の蓄積 ②人権教育の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・いじめアンケートの有効活用(毎月) ・SNSの使い方、人権教室等(年1回) ③教育相談・生徒指導の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・QUテストの効果的な活用 ・学級の枠をこえた学年(ブロック)経営 ④キャリア教育の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育を意識した教科指導、体験活動(年1回) ・キャリアパスポートの活用(年2回) ⑤インクルーシブ教育を意識した教育活動の工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・個別の支援計画、指導計画の活用(年2回の見直し) ・合理的配慮のある教育 | <ul style="list-style-type: none"> ①体力向上の取り組み <ul style="list-style-type: none"> ・運動身体づくりプログラムの毎時間実施 ・年間をとおした業間マラソンの実施(学期1回重点) ②自分手帳を活用した健康マネジメント力の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・成長の記録の記入、累積(学期1回) ・食育、健康教育での自分手帳活用(学期1回以上) ③望ましい食・生活習慣の定着 <ul style="list-style-type: none"> ・栄養教諭、養護教諭とのTT授業(年間1回) ・「マイペースの日」を関連させた食生活への意識向上に向けた取組 ④自他の命を守る判断力と実践的な態度を育成 <ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練、引き渡し訓練への実践取り組み(学期1回) ・震災を風化させない取り組み(放射線教育 年間1回) |
| C | <ul style="list-style-type: none"> ①児童、保護者学校評価アンケート(年1回) ②保護者授業参観アンケート(学期1回) ③市学力調査達成率70%以上 8割 ④通知票評価(年間2回) | <ul style="list-style-type: none"> ①いじめアンケート(毎月) ②QUテスト(年間2回) ③キャリアパスポート(年間4回以上) ④特別支援委員会・交流会との打合(年1回以上) | <p>体力テスト(目標) AB:40パーセント DE:25%以下</p> <p>自分手帳を活用した肥満度10%以下</p> |
| A | 朝・休み時間等の個別指導 自主学習ノート紹介 | 道徳科授業 委員会活動・クラブ活動 | ふくしまっ子体力向上総合プロジェクト |

